

一般社団法人 日本小児血液・がん学会  
第41回（平成30年度第2回）理事会議事録

日 時：平成30年6月17日（日） 12：00～13：00  
場 所：名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟 A 3階 会議室  
名古屋市昭和区鶴舞町65番地  
出席者：足立壯一、天野功二、井上 健、今泉益栄、大植孝治、小野 滋、上條岳彦、  
上別府圭子、木下義晶、康 勝好、副島俊典、滝田順子、西川 亮、細井 創（第60  
回学術集会会長）、松本公一、真部 淳、盛武 浩、米田光宏（以上理事）  
檜山英三（第61回学術集会会長）  
菊田 敦（監事・第62回学術集会会長）、越永従道（監事）  
井上雅美、大賀正一、田尻達郎、田中祐吉、仁尾正記、堀 浩樹、堀部敬三  
（以上オブザーバー）

冒頭に、本日の理事出席者数は18名中18名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を充たしているため、本理事会は成立することを確認し、理事細井 創は議長となり、議長席に着き審議に入った。

I. 前回理事会議事録（案）の確認

議長より、前回議事録（案）が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

II. 審議事項

1. 理事長（代表理事）選定の件

議長は、新たに理事長を選定する必要がある旨を述べ、議場に諮ったところ、下記の者が満場一致をもって選定された。

理事長 細井 創

選定後、理事長細井 創より、理事長就任の抱負が述べられた。

2. 副理事長選定の件（理事長）

議長は、新たに副理事長を選定する必要がある旨を述べ、議場に諮ったところ、下記の者が満場一致をもって選定された。

副理事長 真部 淳

3. 各委員会委員選定の件

議長より、委員会委員案が示され、議場に意見が求められたところ、以下の討議がなされた。

議長より、評議員ではない会員が委員に含められているとの意見があり、評議員でない会員について確認がなされた後、該当する会員が委員に就任することについて、議場に承認が求められたところ、異議なく承認された。

また、3期目の就任となる委員について、各委員会委員長より報告があり、議場にその委員の3期

目の就任について承認が求められたところ、異議なく承認された。

さらに、議場より、3つの委員会委員を兼任している評議員について意見が出され、議場にて討議された結果、診療ガイドライン委員は交代することとし、次回理事会までに診療ガイドライン新委員を検討することとなった。

討議の結果、以下の委員会委員が承認された。

1) 庶務・財務委員会

委員長 松本公一、副委員長 上原秀一郎

委員 朴 明子、藤崎 弘之

2) 規約委員会

委員長 副島俊典、副委員長 上別府圭子

委員 佐藤 篤、田中文子

3) 評議員等資格審査委員会

委員長 井上 健、副委員長 木下義晶

委員 孝橋健一、高安 肇、照井君典、中田光政、中山秀樹、平松英文

4) 倫理委員会

委員長 小野 滋、副委員長 末延聡一

委員 前田美穂、外部委員 田代志門、増子孝徳

5) 利益相反委員会

委員長 天野功二、副委員長 大植孝治

委員 朴 明子、森 鉄也、外部委員 入江源太、齋藤了太

オブザーバー 田中祐吉

6) 学術集会プログラム委員会

委員長 米田光宏、副委員長 盛武 浩

委員 犬飼岳史、副島俊典、高木正稔、高間勇一、滝 智彦、長江千愛、宮地 充、義岡孝子、

渡邊健一郎

7) 学会誌編集委員会

委員長 井上 健、副委員長 上條岳彦

委員 伊勢一哉、加藤元博、澤田明久、宗崎良太、野崎美和子、橋井佳子、脇坂宗親

8) 診療ガイドライン委員会

委員長 小野 滋、副委員長 今泉益栄

委員 石黒 精、今村俊彦、岡本康裕、小川 淳、多賀 崇、富澤大輔、文野誠久、宮地充

9) 学会賞等選考委員会

委員長 西川 亮、副委員長 康 勝好

委員 今井千速、大平美紀、佐野秀樹、滝田順子、田中祐吉、照井君典、矢部普正、

渡邊健一郎

10) 研究審査委員会

委員長 上条岳彦、副委員長 西川 亮

委員 高橋義行、中澤温子、中田光政、福島啓太郎

外部委員 磯部 哲、小川公明、桑原博道、小山 洋、近藤博子、手良向聡

11) 学術・調査委員会

委員長 木下義晶、副委員長 足立壯一

委員 家原知子、今井耕輔、大喜多肇、川井 章、古賀友紀、笹原洋二、師田信人、安井昌博、  
米倉竹夫

オブザーバー 菊田 敦、田尻達郎

12) 疾患委員会

委員長 足立壯一、副委員長 松本公一

委員 石黒 精、石田也寸志、田尻達郎、長江千愛、橋井佳子、濱 麻人、森本 哲

13) 看護委員会

委員長 上別府圭子、副委員長 天野功二

委員 内田雅代、小川純子、塩飽 仁、竹之内直子、富岡晶子

14) 教育・研修委員会

委員長 大植孝治、副委員長 盛武 浩

委員 小林良二、笹月桃子、嶋田 明、末延聡一、高橋義行、多田羅竜平、永山 淳、藤 浩、  
吉田沙蘭、余谷暢之

15) 専門医制度委員会

委員長 滝田順子、副委員長 米田光宏

委員 井上雅美、今井千速、柴 徳生、長谷川大輔、菱木知郎、平井みさ子、吉田奈央、  
脇坂宗親

オブザーバー 小野 滋

16) 社会・広報委員会

委員長 真部 淳、副委員長 家原知子

委員 井口晶裕、今井耕輔、笹原洋二、宗崎良太、寺島慶太、吉田奈央

17) 保険診療委員会

委員長 今泉益栄、副委員長 田内久道

委員 伊勢一哉、小川 淳、小川千登世、加藤剛二、後藤裕明、中山秀樹

18) 国際委員会

委員長 康 勝好、副委員長 菱木知郎

委員 上原秀一郎、岡本康裕、富澤大輔、野上恵嗣、森 鉄也

4. 理事長諮問委員会について

議長より、資料をもとに、理事長諮問委員会構成案が示され、議場に意見が求められたところ、討  
議がなされ、以下の体制となった。委員構成については今後の検討事項とする。

1) 長期フォローアップ・移行期医療委員会

委員長 細井 創、副委員長 檜山英三

2) ゲノム医療検討委員会

委員長 細井 創、副委員長 真部 淳

5. 「公益信託 日本白血病研究基金」助成：学会推薦者の件

西川学会賞等選考委員長より、資料をもとに、標記事項について湯坐有希会員（東京都立小児総合  
医療センター）を推薦することが提案され、推薦書（案）が示された後、議場にその承認が求められ  
たところ、全員異議なく承認された。

## 6. ゴールドリボンウオーキングイベント後援について

議長より、資料をもとに、標記事項について説明がなされ、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

また、議場より、ゴールドリボン・ネットワークのイベントに関する年間予定を確認してはどうか、との意見が出され、確認することとなった。

## 7. 利益相反事項の申告書改正について

天野利益相反委員長より、利益相反事項の申告書改正（案）が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

また、議場より、利益相反の取り扱いに関する細則改正の必要性について意見が出され、委員会にて確認後、改正する場合は、持ち回り審議をすることとなった。

## 8. 日本医学会総会 2019 中部特別展示について

議長より、標記事項について、資料をもとに説明がなされた後、分科会特別展示に参加することが提案され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

## 9. 日本小児感染症学会より予防接種ガイドライン WG 委員について

議長より、標記事項について、資料をもとに説明がなされた後、菅 秀会員（三重病院）が推薦され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

## 10. 日本小児科学会小児慢性疾病患者の移行支援 WG 委員について

議長より、標記事項について、資料をもとに説明がなされ、議場にて討議がなされたところ、前委員の前田美穂名誉会員に後任を推薦いただくこととなった。

## 11. 日本小児科学会用語委員会委員について

議長より、標記事項について、資料をもとに説明がなされ、今井耕輔評議員の委員継続が提案され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

## 12. 対外委員について

議長より、資料をもとに、標記事項について説明がなされ、各担当委員の後任について議場にて討議がなされ、以下のように担当委員の交代が決定した。その他の対外委員は現委員の継続とする。

- 1) がん治療認定医機構関連学会連絡委員会：滝田専門医制度委員長
- 2) 希少がん対策ワーキンググループ四肢軟部肉腫分科会：細井理事長が指名する。
- 3) 小児がん中央機関アドバイザリーボード委員：細井理事長
- 4) 内保連 小児関連委員会：副島理事の後任を保険診療委員会で検討する。
- 5) 日本医学会連合 評議員：細井理事長
- 6) 日本医学会連合 連絡委員：真部副理事長
- 7) 日本医学会連合 医学用語代委員：加藤元博評議員
- 8) 日本医学会連合 診療ガイドライン統括委員長会議：小野診療ガイドライン委員長
- 9) 日本医学会連合 研究倫理教育研修会：井上学会誌編集委員長
- 10) 日本癌治療学会 小児白血病の専門委員：今泉診療ガイドライン副委員長

- 11) 日本癌治療学会 ガイドライン専門・協力委員：診療ガイドライン委員会にて検討する。
- 12) 日本小児・思春期・若年成人がん関連学会協議会：松本公一理事
- 13) 日本小児科学会 小児慢性特定疾患委員会：松本公一理事、加藤元博評議員

#### 13. プリナツモマブの外来および在宅治療の実施に関する要望書について

今泉保険診療委員長より、標記の要望書（案）が示され、説明がなされた後、日本血液学会と連名で厚生労働省へ要望書を提出することについて、議場に承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

#### 14. 平成 30 年度 CLIC 収支予算書について

大植教育・研修委員長より、資料をもとに、標記事項について説明がなされ、議場に意見が求められたところ、以下の討議がなされた。

- ・日本緩和医療学会との共同開催であるため、収入も支出も両学会で折半とすべきではないか。
- ・共同開催に関する覚書作成が必要である。

討議の結果、日本緩和医療学会との共同開催に関する覚書を作成することとなった。

#### 15. 陽子線ガイドラインに関するパブコメについて

副島理事より、標記事項について、学会 HP でパブコメを募集することが提案され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

#### 16. 今後の理事会予定について

議長より、資料をもとに、次回の理事会日程について議場に意見が求められたところ、後日、日程調整サイトを利用して調整することとなった。

また、議場より、理事会の会場について、がんの子どもを守る会の会議室を貸していただくことが提案され、アクセス等を含めて検討することとなった。

来年の社員総会日時と会場については JCCG と相談して決めることとなった。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。